

# 大会宣言

三重県公立小中学校教頭会は「未来を生きる力を育む 魅力ある学校づくり」の主題のもとに、第57回定期総会を開催することとなりました。

ここ数年で学校教育を取り巻く環境は大きく変化しました。コロナ禍と呼ばれる状況はこれまでの取組を当たり前でないものにし、子どもたちが楽しみにしていた活動も中止せざるを得ないところまで追い込みました。加えて、私たちに課せられた働き方改革という課題は、ともするとこうした流れに拍車をかけるという側面も持ち合わせており、学校教育は非常に大きな転換期を迎えました。このような難しい状況下での学校運営には的確な判断と迅速な対応が求められ、私たち教頭は学校長の示す方針の実現に向かって教職員の先頭に立ち、先例のない中で新たな学校教育の流れを模索し続けてきました。

そんな時に私たちの大きな力となったのは、教頭同士のつながりでした。近隣だけでなく他の自治体の学校とも情報を共有することで視野を広げることができたり、課題を解決するきっかけを見つけたりすることができました。教頭会の原点とも言うべきこの役割を再確認できたことは、出口の見えないコロナ禍にあって、大きな収穫であったと言えるのではないのでしょうか。

私たち教頭は、「新たな魅力ある学校づくり」のためにこれまでの学校教育で行われてきた取組の意味を見直すのと同様に、教頭会の取組の意味をもう一度見つめ直し、教頭会の意義を常に問い続けていく必要があると考えます。

ここに教頭会は、児童生徒のよりよい成長のために常に学ぶ姿勢と、強いつながりを持って教育政策にも積極的に提言を行う職能団体としての自覚を持ち、「未来を生きる力を育む 魅力ある学校づくり」に向けて邁進することを宣言します。

令和4年5月13日

三重県公立小中学校教頭会 第57回定期総会